

工務店事例 大型パネル×高性能住宅

性能追求に加えデザインもブラッシュアップ 真壁・モイスあらかわし・全開口部「佐藤の窓」のモデルハウス

天野保建築 [山梨県富士吉田市]

ウッドステーションが展開する「大型パネル」工法を標準化し、高性能住宅に特化して年間新築2～3棟をコンスタントに手掛ける天野保建築(山梨県富士吉田市)は、UA値0.2W/m²Kの断熱性能を備え、モデルハウスと事務所を兼ねる代表の天野洋平さんの自邸の新築を同市内で進める。9月28日には現場で、構造材などの入手先の山長商店グループのモック(埼玉県八潮市)と大型パネルのユーザー工務店などをつくる「みんなの会」と共催で上棟見学会を開催。県内外から工務店、設計事務所、建材メーカー・流通事業者の関係者らが多数訪れ、注目の高さをうかがわせた。

山長商店が供給する無垢の構造材・羽柄材、耐力面材モイス、透湿防水シート、付加断熱(ネオマフォーム100mm厚)、高性能木製サッシによる大型パネルをクレーンで吊りながら施工。最も重い、あわせると2間半(高さ2100mm)の木製サッシによる大開口を含むパネルの重量は500kg弱に達した。パネルについてはテクノエフアンドシー沼田工場(群馬県沼田市)で生産されたものを搬入した。

天野さんは「住宅の高性能化により建材の重量が増すと同時に、精度の高い緻密な施工も求められる。うちのような

小さな工務店が、高性能住宅によって地域で存在感を発揮していくために大型パネルは有効なツールだ」と語る。

坪単価95～100万円 2年先までの受注が確定

同社は大型パネルを標準化し、これまでに建築家の西方見さん(西方設計)とのコラボによる高性能住宅を手掛けるなどして地元での認知度を上げ、現状では坪単価95万～100万円の価格帯で2年先までの受注が確定している状況となっている。

上棟作業を公開したモデルハウス・事務所を兼ねる天



天野保建築の天野洋平さん

野さんの自邸は、延べ床面積37坪。UA値0.2W/m²Kの断熱性能で、気密は最近の同社の案件で平均となっている0.1cm³/m³を目安とする。壁(内側)に89mm厚の高性能グラスウールを施工。屋根の断熱は内側が高性能グラスウール140mm厚、外側にネオマフォーム120mm厚となっている。ハーフユニットの浴室まで含めて、全ての窓に高性能木製サッシ「佐藤の窓」(スマートウイン)を採用した。

天野さんは「今後はデザイン面に関して、さらに磨きをかけていきたい」と意欲を見せる。今回のモデルハウス・事

多くの見学者が見守る中で大型パネルによる上棟作業が行われた



クレーンで運ばれる500kg弱と最も重いパネル



屋前には1階部分の作業が完了

務所兼自邸は「階高を抑え、せっかく山長さんの美しい無垢材を使っているので室内は真壁の空間とし、壁はシンプルに内装用モイスを仕上げとする」と話す。同社では定番の板張りの外壁についても「押縁の反対とも言えるような“敷目板張り”という張り方で意匠的なアクセントをつけた」とする。デ

ザイン面のブラッシュアップについては「鹿児島島のシンケンさんの事例を見せていただく機会があり、そこで大きな刺激を受けた」と(天野さん)という。

完成は来年4月を予定。隣接地には、同社が施工し、仕上げを施主が自ら行っているハーフビルドの住宅もあり、天野さんは施主の協力も得ながら、並び立つ2棟を活用しながら地域の人たちに対して多様な暮らしと住まいの提案を行っていく考えだ。

無垢材生かすパネル生産工場 モック、来夏の稼働めざす

上棟見学会の当日は、天野さんが大型パネルとあわせて標準化している山長商店の無垢構造材などの販売元のモック社長の榎本哲也さんが現場を訪れ、作業の様子を見守りながら、来年から千葉県千葉市内に建設する工場での大型パネルの生産を開始する計画について説明した。天野さんとは今回で4棟目のコラボで、榎本さんは「山長の無垢材の魅力を引き出しながら、なおかつ品質の高い家づくりを手掛ける工務店さんをバックアップする方法として大型パネルに大きな可能性を感じている」と語った。



モックの榎本哲也社長

“森の入り口”となる場所に 山・工務店・住まい手をつなぐ

千葉市内の1700坪の敷地に400坪の工場を建設し、いまのところ年間60棟分程度を供給していく構想だ。来年初夏の稼働スタートを見込む。榎本さんは「単なるパネルの生産工場ではなく、ものづくりの拠点となり、さらに“森の入り口”になるような場所にしたい」と話す。工務店向けの造作材の加工場なども設けて、工務店と顧客、工務店同士が交流できるような場にしながら、国産材を活用し健全な森林を育成していくことの意義を伝え、「山と工務店と住まい手をつなぐ」機能を持たせる。

さらに榎本さんは「パネル工場に雇用した人々には、CADデータを入力して図面を起こすような業務を担ってもらいながら、工務店さんの建て方にも参加して大工さんと共に汗を流してもらおう」とし、「そんな中では、『大工になりたい』という人材も出てくるかもしれない。将来的には、そうした人材がいたら、積極的に大工になることを後押しし、少しでも人材、若手の不足に直面する住宅業界に貢献するといったことも考えていきたい」とのビジョンを示した。



天野さんの自邸兼モデルハウス・事務所の隣にある天野保建築が手掛けたハーフビルドの住宅。施主が自ら仕上げを行っている

特許取得 第6831576号

スマート家事室

たった1坪で家事の負担が激変／施工実績・反響多数

エリア制 **加盟店募集** 資料請求・詳細はこちら ▶

グローバルハウス

グローバルハウス株式会社 本社:山梨県中巨摩郡昭和町西条14-1 TEL. 055-268-1152 FAX. 055-268-1127